

# 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場会社名 北川工業株式会社

上場取引所 名

コード番号 6896 URL <http://www.kitagawa-ind.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北川 弘二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 大田 英治

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

TEL 052-261-5528

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	8,317	△23.3	661	△55.4	757	△55.5	456	△52.8
21年3月期第3四半期	10,850	—	1,481	—	1,702	—	966	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	36.18	—
21年3月期第3四半期	76.57	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	31,005	27,875	89.9	2,209.95
21年3月期	30,943	27,935	90.3	2,214.71

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 27,875百万円 21年3月期 27,935百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
22年3月期	—	8.50	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	8.50	17.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	△16.4	650	△49.9	750	△54.9	380	△58.8	30.13

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有  
新規 一社 (社名 ) 除外 1社 (社名 インターマーク株式会社 )  
(注)詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	13,079,525株	21年3月期	13,079,525株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	466,068株	21年3月期	465,886株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	12,613,505株	21年3月期第3四半期	12,622,322株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における経済情勢は各国政府の景気刺激策の実施や企業の在庫・生産調整の進展により緩やかに景気の持ち直しが見られ始めたものの、企業収益の本格回復への足取りは遅く、所得、雇用情勢は厳しい状況にあり、依然、景気低迷が続きました。

このような経済情勢の中で、当社グループの主力市場である電機・情報・通信機器業界各社は相次いで生産コスト削減に向け、OEM企業への生産委託の比重を高めるなど、グローバルな規模での生産・調達体制の大幅な見直しが加速してまいりました。

当社グループは、このような事業環境の変化に対応し受注機会増大へ向け、主力市場に加え環境・エネルギー分野の新成長市場はじめ自動車・住設・工作機械など内需関連市場へのソリューション営業活動の強化をするとともに、一部生産ラインの移転、合理化実施、物流機能の集約など固定費削減を柱とする収益構造改革を推進する一方、中国華南地域での生産・販売活動を強化するべく生産・サービスの現地法人2社の設立へ向け昨年12月より準備に入りました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は83億1千7百万円（前年同期比23.3%減）、営業利益6億6千1百万円（前年同期比55.4%減）、経常利益7億5千7百万円（前年同期比55.5%減）、四半期純利益は4億5千6百万円（前年同期比52.8%減）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ6千1百万円増加し310億5百万円となりました。負債は1億2千2百万円増加し31億3千万円となりました。純資産は6千万円減少し278億7千5百万円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年11月6日に修正発表した当事業年度の業績予想には変更ありません。なお、当社グループを取り巻く国内外の景気、為替、ユーザーの動向等を注視し、連結業績への影響により修正が必要になった場合には適時、適正に開示します。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

平成21年4月1日に連結子会社であったインターマーク株式会社を吸収合併したため、第1四半期連結会計期間より連結子会社の数が減少しております。

## (2) 簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ① たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

## ② 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として、定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

## ③ 一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

## ④ 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

⑤ 税金費用ならびに繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度以降に経営環境等および一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続・表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,489,627	12,437,727
受取手形及び売掛金	3,494,899	2,879,796
有価証券	3,962,707	4,427,024
商品及び製品	378,354	411,786
仕掛品	125,761	134,939
原材料及び貯蔵品	100,326	95,624
その他	316,265	653,434
貸倒引当金	△3,827	△3,989
流動資産合計	19,864,114	21,036,343
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,004,686	4,012,501
その他(純額)	3,627,634	3,970,125
有形固定資産合計	7,632,321	7,982,626
無形固定資産		
その他	290,506	159,372
無形固定資産合計	290,506	159,372
投資その他の資産		
投資有価証券	676,890	697,538
長期預金	1,493,672	—
その他	1,119,883	1,140,739
貸倒引当金	△72,110	△73,103
投資その他の資産合計	3,218,336	1,765,174
固定資産合計	11,141,164	9,907,173
資産合計	31,005,279	30,943,517
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,652,952	1,443,150
未払法人税等	214,344	99,085
賞与引当金	110,463	191,846
その他	382,974	433,235
流動負債合計	2,360,734	2,167,318
固定負債		
退職給付引当金	457,930	537,749
役員退職慰労引当金	311,440	302,700
その他	111	254
固定負債合計	769,482	840,703
負債合計	3,130,216	3,008,022

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,770,000	2,770,000
資本剰余金	3,915,130	3,915,130
利益剰余金	23,534,756	23,311,761
自己株式	△759,400	△759,202
株主資本合計	29,460,486	29,237,689
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	91,735	52,409
為替換算調整勘定	△1,677,159	△1,354,603
評価・換算差額等合計	△1,585,423	△1,302,194
純資産合計	27,875,062	27,935,494
負債純資産合計	31,005,279	30,943,517

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	10,850,010	8,317,282
売上原価	5,607,320	4,459,279
売上総利益	5,242,689	3,858,003
販売費及び一般管理費	3,760,968	3,196,758
営業利益	1,481,721	661,245
営業外収益		
受取利息	134,307	98,366
受取配当金	8,713	6,712
助成金収入	102,546	—
その他	69,515	77,598
営業外収益合計	315,082	182,677
営業外費用		
支払利息	555	557
売上割引	4,596	1,969
為替差損	82,756	76,831
貸貸収入原価	3,043	3,947
その他	3,642	3,261
営業外費用合計	94,594	86,566
経常利益	1,702,209	757,355
特別利益		
固定資産売却益	185	2,671
投資有価証券売却益	—	263
投資有価証券償還益	—	747
貸倒引当金戻入額	5,640	715
特別利益合計	5,825	4,398
特別損失		
固定資産売却損	1,045	—
固定資産除却損	280,665	4,427
減損損失	—	9,716
投資有価証券評価損	5,455	—
特別損失合計	287,167	14,144
税金等調整前四半期純利益	1,420,867	747,609
法人税等	454,324	291,263
四半期純利益	966,542	456,346

- (3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

以 上